

## ウォーキングクラブ 2月定例会【高牟神社(高針神社)から牧野ヶ池緑地】

実施日：2024.02.15



暦のうえで立春が過ぎたとは言え、未だ寒い日が続きます。当日は厚い雲に日は覆われたどんよりとした天気ですが、最高気温は15℃と高く、風も無いので意外と温かなウォーキング日和になりました。

東山線本郷駅のバスターミナルに男性4名、女性6名の10名の参加者が9時半に集合、何時ものように爽やかな笑顔と元気な挨拶が交わされます。

9:41 発車の右回り巡回バスに乗車して9:53に高針台住宅団地の極楽西バス停で降車。

幹線道路沿いは商業施設のビルとマンションが建ち並び、一本道を奥に入れば新興住宅地。その先を南に向い区画整理区域を外れて道なりに直進。イメージを膨らませ昔の面影を想像して良く観れば、かつての高針村がおぼろ気に浮かんできます。幅二間程の細い脇道を辿れば、昔の農家の大きなお屋敷を眺め、庭先の紅梅や実もたわわな蜜柑を眺めながらの散策ウォーキング、やがて森に囲まれた蓮教寺に至ります。

### ①古刹の法雲山蓮教寺の云われ

山門前には寺の由緒が記された立派な石碑がありました。

それによれば長徳年間(995年 - 999年)に源信を開山に招き、天台宗の寺院として創建されたという。

永禄4年(1561年)に、時の住職だった蓮光によって浄土真宗高田派に改宗。

第5世住職・蓮勝の代に寺号を現在の「蓮教寺」に改称。その後、移転を繰り返していたが、正徳6年(1716年)に現在地へ移った。江戸後期には景勝地として、『尾張名所図会』に牧の大池(牧野池)と並べて描かれている。

登録有形文化財は山門をはじめ、本堂は宝暦8年(1758年)の建立。本尊の阿弥陀如来立像は、慈覚大師の作と伝えられる。書院は文化9年(1812年)の建立。庫裏は宝暦13年(1763年)の建立。鐘楼は明治15年(1882年)の建立。以上5件の建造物は平成29年(2017年)に国の登録有形文化財に登録されたそうです。山門・本堂・庫裏・書院・鐘楼等を眺め廻し、建造物はその当時の浄土真宗の典型的な配置であり、その特徴に納得して本堂にお詣りします。

本堂の階段の手前には10足程の靴が丁寧に並んでおり、障子を通して読経と木魚の音を聞き、お勤めの法要が行われている様です。出来れば外陣に入りお勤めに列席させて頂きたいと思いましたが、部外者が立ち入る事は憚れるので残念ながら遠慮しました。本堂に至る参詣の石畳を挟んで両側に対の古木の百日紅があり、夏の頃なら見事な花が迎えてくれる事でしょう。

本堂の前で集合写真を撮って、読経と木魚の音を後にして、二町程離れた杉の木立に囲まれた高牟神社に向かいます。

寺の万年堀越の日当たりの良い斜面に眼をやれば、水仙の花が咲き乱れ、早春を感じます。





## ②高牟神社(高針神社)の云われ

ネット検索によれば、津田正生(まさなり)著の『尾張国地名考』に、「高き地を開墾したるを高治(たかはり)といい、平なる地を治(はり)たるを平治(ひらはり)と呼び、墾(はり)も治も同意也。針は借字(かりじ)なり」とある。創建年は不明。高針村の氏神で、長く八幡社と称していたため、現在の祭神は應神天皇となっています。

それが何故か、昭和26年(1951年)に高牟神社と改称している。『延喜式』神名帳(927年)の愛智郡高牟神社はうちだという主張からのようだ、どういう経緯でそういう話になったのかは分からない。現状では千種区今池の高牟神社が愛智郡高牟神社を称している。それを疑っている人はあまりいないが、津田正生などは古井村(今の千種あたり)はかつて山田郡だったから古井村の八幡(今池高牟神社)は愛知郡高牟神社ではないと記されている。

高針の高牟神社が愛智郡高牟神社なのかといえば、ここは完全に山田郡だったから愛智郡高牟神社ではあり得ないのではないと思われる。しかし、だからといってここが新しい神社とは限らない。思っている以上に古い神社かもしれない。以上がネット検索による神社の云われであった。

杉植林地と山茶花と白梅の駐車場を横切り本殿に向かいます。

戦禍により本殿はRC構造に建て替えられたのか?小奇麗な拝殿に安全安心ウォーキングと無病息災のお願いをしました。高牟神社境内の天望地から開けた西方の展望は、環状2号線のR302はまるで巨大なビニール温室の様な防音壁の先には、名東区のマンションや新興住宅、その先には東山展望塔をはじめ、東山動植物園の緑の山並み稜線が展望できます、その先は厚い雲か低く垂れ込め養老山脈の稜線は雲と渾然一体になりぼんやり眺める事ができます。

## ③牧野ヶ池緑地半周ウォーキング

細い道を農家の土留め石垣に沿って下れば、明るくて大きな幼稚園「陽だまりこども園」に至りました。園の外周を周り砂場や広場での園児の可愛い姿を眺めて、ご婦人が園児にご挨拶のエール交換。

羊腸の様な坂道を下ればやがてバス路線の県道を押しボタン信号交差点を渡り、牧野ヶ池の堰堤の放水路口に至りました。ここで皆さんの体調に合わせて池を右周りとは左周りの2グループに分かれ芝生広場Bに向かいました。池の堰堤には三角形のアルミ製の日陰タープテントがあり、多くの方が池を眺め休息されています。また、奥様方の犬の品評会か、コミュニケーションの場か?その様な風景も眺める事ができました。池には三々五々のウグイナ科のオオバンが水面を気持ち良さそうに泳ぐ姿を見る事ができました。池に沿った遊歩道は歩き易い立派な栈橋風の人工砂利舗装です。車椅子の方、杖を着いた高齢者、トレランの方、仲の良いペアー。毛並みの綺麗な白い大きな犬を連れてご婦人に遭遇、体重は57kgとの事、犬種をお聞きしたが忘れネット検索してグレートピレニーズ?

皆さん、半周コースのウォーキングは脚の負担も無く、のんびり散策ハイクで芝生広場Bにゴール。

## ④ランチタイムは全員ざるそば+お寿司ランチセット

11時半にランチタイムの「サガミ梅森坂店」に立ち寄り、全員ざるそばランチセットをいただきました。コスパもさりながら、食欲と嗜好が一致し何故か全員同じメニューになりました。

ざるそば2段セットは男性でもボリューム感100%でした。美味しく頂き重いお腹を抱えて12時半過ぎに店を出て梅森坂口バス停から星ヶ丘行きバスに乗り、終点で東山線に乗り換え、自由解散となりました。雨の心配をしていましたが、案ずるより日頃の行いの良い我らウォーキングクラブ会員は神仏のご加護により、小生は濡れることも無く無事に本願寺町の我が家に14時半に帰宅できました。

ところでスマホの歩数計で確認したところ、総歩数:11,000歩、歩行時間:1:50、歩行速度:4.3kmでした。  
(フォート提供:30期 北川 健一)